

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和 7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

Table with 2 columns: 学校名 (神崎市立千代田東部小学校) and 1 前年度 評価結果の概要 (『夢に向かって、気づき・考え・行動する』児童の育成)の目標達成に向け、学力向上対策、ボランティア活動の取組、マナー教室等を実施することができた。その結果「自らの夢や目標を実現に向けて努力する」児童99.1%、「自分にはよいところがある」児童100%というアンケート結果で、前年度よりも上回ることができた。向上心や自己肯定感の伸びがみられ、今年度も維持できるように取組を継続していく。

2 学校教育目標 「渾身勉学」「白鳥蘆花に入る」～夢に向かって、気づき・考え・行動する児童の育成～

3 本年度の重点目標 ・自己肯定感をもち、自分を律することができる児童の育成
・思いやりと協力の心をもち、ふるさとを愛する児童の育成
・自己実現に向け、学びに向かう児童の育成

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

Main evaluation table with columns: 重点取組 (重点取組, 成果指標(数値目標), 具体的取組), 中間評価 (進捗度(評価), 進捗状況と見通し), 最終評価 (達成度(評価), 実施結果), 学校関係者評価 (評価, 意見や提言), 主な担当者. Rows include: (1)共通評価項目 (学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり), (2)本年度重点的に取り組む独自評価項目 (地域教育の推進, 業務改善・教職員の働き方改革の推進, 特別支援教育の充実).

5 総合評価・次年度への展望
・教職員・児童・保護者・地域が連携し、学校全体で互いを支え合う温かな雰囲気づくりを進めることができた。児童アンケートでは「千代田町の町や人が好き」「学校は楽しい」と回答した児童がそれぞれ98%と高い割合を示しており、子どもたちが安心して過ごすことのできる、誇りある学校づくりが着実に推進されていると評価できる。
・多くの児童が読書習慣を身に付けており、今後は読書内容の質を高めるとともに、継続して読書に親しめる環境づくりを進める。家庭学習では宿題への取り組みは定着しているが、主体的に学習内容を選択する態度や自主学習の質の向上を図る必要がある。次年度は、読書の習慣化に向けた働きかけを継続するとともに、児童が自ら課題を設定し主体的に学べるよう、指導の工夫をさらに進める。